日本二普協ニュース

No. 121 平成30年8月号





一般社団法人日本二輪車普及安全協会(日本二普協)では去る6月28日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で「平成30年度定時総会」を開催しました。総会では、平成29年度事業報告及び決算、役員の選任について審議し、いずれも承認されました。平成30年度事業計画及び予算についても、3月27日の理事会で承認された内容をご報告しました。

日本二普協は本年度、「二輪車安全運転普及活動の推進」、「二輪車防犯活動の推進」、「流通業務活動の推進」、「プレゼンス向上活動の推進」、「二輪車の利便性、楽しさを訴求する活動の推進」、「モーターサイクルスポーツ普及活動の推進」、「BIKE LOVE FORUM (BLF) への参画」「広報活動の推進」、を基本施策として各事業を積極的に推進して参ります。

引続き、皆様のご支援ご協力をお願い致します。

■平成30年度定時総会におけるご挨拶
伊東孝紳 日本二普協会長2
長谷川豊 警察庁 長官官房 審議官3
■平成 29 年度事業報告 ····· 4
■ 平成 30 年度事業計画
■平成29年度活動優秀都府県地区表彰13
■定時総会後の意見交換会におけるご挨拶
伊東孝紳 日本二普協会長14
川瀬信昭 自工会二輪車企画部会長15

次◆

•
■トピックス
「G防登録普及促進月間」の実施結果16
「二輪車安全運転大会実施に向けた検討WG」の設置について・・・16
「グッドライダーミーティング」の開催状況17
「二輪車限定ツーリングプラン」の実施概要について18
「バイク月間」のロゴをリニューアルしました18
「バイクの日スマイル・オン2018」の開催の概要について…18
「二輪車安全運転推進運動」の実施について19
■参考資料
統計1:6月末現在の都道府県別二輪車乗車中交通事故死者数 …20
統計2:グッドライダー・防犯登録(6月末現在) …21
統計3:二輪車盗難認知及び被害回復状況22
■役員名簿23

伊東孝紳会長挨拶



本日は、ご多忙中にもかかわらずご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様方には、平素から協会の事業運営並びに諸活動に対しまして多大なるご理解とご支援、ご協力を賜っておりますことに、この機会をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

平成27年度から中期業務計画を策定し、各事業の今後の実施の方向性や計画性等を明確にし、また、事業毎に 各年における実施目標を設定、その達成を目指して実績向上に努めて参りました。

この中期業務計画が昨年度で終了しましたので、各事業の現況やこれまでの実施状況等を踏まえまして、新たな中期業務計画を策定し、本年度から運用を図って参ります。

また、全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員会が主催しておりました二輪車安全運転全国大会が昨年の50回大会を最後に終了となりましたので、日本自動車工業会、4メーカー・卸販社及び当協会で、これに代わる大会を来年度から実施する方向で検討を始めました。

ご意見、ご要望等がありましたらお寄せ頂きますようお願い致します。

国内二輪車市場は依然厳しい状況が続いておりますが、二輪車が安全・快適で便利な乗り物として、一人でも 多くのユーザーが二輪車利用の輪に加わって頂けるよう、引き続き諸活動を積極的に展開して参ります。

皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本日の会議では、平成29年度事業報告及び同決算、現役員の任期満了に伴う役員の選任、平成30年度事業計画及び同予算について、お諮りすることとしております。

ご審議をよろしくお願い申し上げ、ご挨拶と致します。



来賓ご挨拶

警察庁長官官房 長谷川豊審議官



ただいま御紹介いただきました、警察庁 長官官房 審議官 長谷川でございます。日本二輪車普及安全協会の 平成30年度定時総会にあたりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

御列席の皆様方には、平素から警察活動各般にわたり、多大な御理解と御協力をいただくとともに、二輪車の 交通安全と防犯対策の推進に御尽力されておりますことに対し、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げま す。

本日、二輪車の交通安全対策とグッドライダー防犯登録制度の普及促進に多大な貢献をされた御功績により、 表彰を受けられました皆様には、心からお祝い申し上げます。

さて、せっかくの機会でありますので、最近の交通事故情勢について、触れさせていただきますと、平成29年中の交通事故死者数は、3,694人で、警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となり、発生件数及び負傷者数は13年連続で減少しました。

また、原付乗車中を含めた二輪車乗車中の死者数は632人で、一昨年と比べ52人減少しております。

本年に入りましても、5月末現在の交通事故死者数は1,368人で、前年同期比で31人減少、自動二輪車乗車中の死者数は140人で、18人減少しているところですが、原付乗車中の死者数は84人で、19人増加しており、その半数を高齢者が占めております。

皆様、御承知のとおり、昨年3月12日に施行された改正道路交通法によって、認知機能検査の結果により医師の診断が義務付けられるなど高齢運転者対策が強化されておりますが、高齢化が進展する中、政府目標である「世界一安全な道路交通」を実現するためには、高齢運転者の交通事故防止が重要な課題であり、警察庁としては、高齢者の特性に応じたきめ細かな対策について様々な観点から検討を進めるなど、総合的な取組を推進しているところです。

悲惨な交通事故を1件でも減少させていくためには、貴協会の皆様と一体となって諸対策に取り組むことが不可欠であります。引き続き、交通事故情勢に応じた効果的な交通事故防止活動に御尽力を賜りますとともに、二輪車の盗難防止と盗難時における早期発見に大きく寄与するグッドライダー防犯登録制度の普及促進を通じて、ライダーの防犯意識の高揚を図っていただきますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会の益々の御発展と、御参会の皆様方の御健勝を祈念申し上げまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

平成29年度事業報告の概要

第1 二輪車安全運転普及活動の推進

1 店頭個別安全指導活動の推進

二輪車販売店(以下「販売店」という。)に対して、二輪車の購入者に当該地域の実情を踏まえた安全運転指導を効果的に実施してもらうため、安全運転指導のポイントを記述した資料等を配布し、その積極的な活用を働きかけた。安全運転指導終了後、購入者にグッドライダー宣言をし、ジャパンライダーズ宣言を記入するよう求め、安全運転が確実に履行されるよう図った。

また、卸販売会社(以下「卸販社」という。)と連携を強化して二輪車安全運転指導員(以下「指導員」という。) 未在籍店に対し、地方二輪車安全運転推進委員会が行う指導員審査の実施情報を発信して審査を受けるよう 促し、58人が審査に合格し、新たに指導員資格を取得した。4メーカー・卸販社では27人が合格し、指導 員資格を取得した。

2 各種安全運転講習会の開催

- (1) グッドライダーミーティングを積極的に開催した。
 - ア 46 都道府県で 113 回開催し、受講者数は 3,853 人であった。前年度比回数で 6 回、受講者数で 442 人減少した。これはグッドライダーミーティングシーズン最盛期の 10 月に台風が続けて上陸する等天候の影響による中止のためであった。
 - イ 警察庁、都道府県警察及び関係団体との緊密な連携を図り、開催についての協力を得た。
 - ウ 指導員マニュアルに基づき的確に実施されるよう指導員研修会を開催した。
 - エ 受講者に対し全国統一のアンケートを実施し、全国 113 会場、3,507 人からのアンケート結果を集計 分析した。今後の開催に向けて反省改善すべきことを把握し、その内容を反映させたグッドライダーミーティングの実施を図った。
- (2) 高校生等を対象とした安全運転講習会を積極的に推進した。
 - ア バイク通学許可生徒の多い県等を実施対象県として、高校生に対する安全運転講習会を主催、共催、 協賛を含め、25 都県 197 校で開催し、実技に 3,420 人、座学に 4,317 人の高校生が参加した。
 - イ 一般社団法人日本自動車工業会(以下「自工会」という。)から受託した高等学校交通安全教育振興 事業として講習会を実施した。
 - 原付通学許可校等の生徒指導担当者研修会を一般財団法人日本交通安全教育普及協会に実施を委託して鹿児島県(10 校 10 人)、長野県(20 校 21 人)で開催した。
 - 県二普協・二推のリーダー指導員の研修会を群馬県において 23人に対して実施した。
 - 原付通学許可生徒に対する講習会を熊本県、鹿児島県、福岡県(3回)、群馬県及び茨城県(3回)において実施し、実技405人、 座学1,110人が参加した。



長野県での生徒指導担当者研修会

- 特別取組みとして指定校への安全講話を埼玉県の浦和東高校及び熊谷工業高校の 2 校 4 回 3,407 人 に実施した。
- (3) 高齢者講習は宮城県をはじめ4都県で計7回、636人、女性対象の安全運転講習は、東京都をはじめ11 都府県で計14回、200人に対して実施した。
- (4) 地域二普協が実施する安全運転講習会に協力支援するとともに、活動実績が優良な地域二普協を表彰した。

3 運転免許取得支援活動の推進

- 二輪免許取得を目指している者に対し、必要な情報を提供して免許取得を支援した。
- (1) 「原付試験問題集」、「バイクと法令」等の教本頒布を行った。
- (2) 「原付試験問題にチャレンジ」Web サイト (通称:ゲンチャレ) の訪問者数は、平成 29 年度中 784,716 件(前年度比 87.9%) であった。

4 二輪車安全運転推進運動の実施

秋の全国交通安全運動の時期に併せ、9月11日(月)から9月30日(土)までの20日間、関係省庁の 後援と関係団体の協力、協賛を得て、全国の販売店参加の下に「二輪車安全運転推進運動」を実施した。

期間中、街頭点検指導を全国で63回、1,876台に実施し、整備不良車両138台、改造車1台、無保険車46台に対し指導等を行った。そのほか、各種安全運転講習会の開催や安全運転について広報等を行った。

5 関係機関・団体との連携活動の推進

関係機関、団体と緊密に連携して、各種交通安全運動や交通安全大会の後援、協力、支援を行うとともに、 二輪車安全運転指導員の養成などに積極的に協力した。

- (1) 春と秋の年2回開催される一般社団法人日本自動車会議所主催の交通安全をテーマにした体験型イベント「交通安全アクション 2017」に参画し、二輪車の交通安全意識の高揚と啓発を行った。
 - この他、関係機関・団体が行う各種交通安全運動、講習会、イベント等に参画し、協力、支援した。
- (2) 第50回二輪車安全運転全国大会、同県予選大会に後援、協力し、大会の活性化を図った。



第50回二輪車安全運転全国大会表彰式

- 二輪車安全運転全国大会は終了となったので、日本自動車工業会、 4メーカー・卸販社及び当協会では、平成31年度から全国規模の 二輪車安全運転大会実施に向けて検討するWGを設置した。
- (3) 二輪車安全運転特別指導員・指導員の審査及び研修会に協力した。
- (4) 地域二普協が行う安全運転講習会、街頭点検指導、イベント等を 積極的に支援し、より一層の連携を強化して地域交通安全活動の活 性化を図った。

第2 二輪車防犯活動の推進

1 G防登録の推進

- (1) 前年度のG防登録件数の5%増の登録件数を目指し、施策を推進 した。
 - ア 支所毎のG防登録計画を策定し、その計画が達成出来るよう進 捗状況を随時把握し、卸販社をはじめ関係部署に情報を提供し、 計画達成に必要な支援、協力の要請を行った。
 - イ 関係団体に対しG防登録の実施を要請した。
- (2) 平成29年4月から6月までの3か月間、G防登録普及促進月間(以下「普及促進月間」という。)を卸販社の協力を得て実施した。

警察庁の後援を得て都道府県警察本部及び所轄警察署に対して、 普及促進月間のポスター・G防登録制度解説リーフレットを送付し、 庁舎等への掲示を依頼し、警察部内のG防登録制度の認知度の向上 を図った。



G防普及促進月間ポスター

- この期間のG防登録件数は66,237件で、前年同期比1,943件、3%の増加であった。
- (3) G防登録制度の推進について優秀である支所及びG防登録実績が優良な販売店に対し表彰を行い、登録率向上に向けた意識高揚を図った。

2 二輪車盗難照会システムの利用促進

警察が保有する盗難二輪車情報の提供を受けて二輪車盗難照会システムの運用を行った。同システム加入者からの照会に応ずるとともに、同システムの的確な運用を図った。また、同システムに未加入の販売店等に対し、引き続き加入促進を図った。

平成29年度末における加入店数は、3,098店で、平成29年度中の照会件数は1,264,533件であった。

3 個人情報保護の徹底

第3 流通業務活動の推進

1 二輪車の利用環境改善

- (1) 二輪車の駐車環境改善の促進とユーザーの駐車場利用啓発を行った。
 - ア 全国の自治体駐車場組織 (72 組織) ならびに駐車場関係団体 (6 団体) と民間事業者 (26 社) に対し「バイク駐車場設置要望促進パンフレット」を 10,000 枚作成し配布、「全国バイク駐車場案内」Web サイトへの掲載依頼を行うとともに、ユーザーから寄せられた駐車場設置要望 (807 件) を集約し届けた。
 - イ 「全国バイク駐車場案内」Web サイトに掲載している平成29年末の二輪車駐車場は、9,917箇所で前年同期比1,757箇所の増加となり、収容台数は167,688台で前年同期比7,552台の増加となった。 また、平成29年度中のWebサイト訪問者数は2,440,476件(前年度比で117.1%)となった。
- (2) 二輪車通行規制区間の情報発信を行い、ユーザーの声を集めた。
 - ア 二輪車通行規制区間情報 Web サイトに関するパンフレット 10,000 枚を作成し、各種イベント等にて 広く告知した。
 - イ ユーザーからのご意見、ご要望(924 件)を通行規制区間別に集約して警察庁ならびに都道府県警察 へ情報提供を行った。
 - ウ 都道府県警察より、直近の二輪車通行規制区間情報の提供を受け調査を行い、二輪車通行規制区間情報を更新した。規制箇所の解除はあったものの新規の規制箇所もあり、規制区間数 456 箇所に変更はなかった。

2 公正な二輪車取引の推進

- (1) ユーザーが安心して二輪車の売買が出来るように、一般社団法人自動車公正取引協議会(以下「公取協」という。)との連携のもと、「二輪車公正競争規約」の普及促進を図った。
 - ア 平成 29 年度新規入会法人数は 53 社を数えたが、廃業などの理由で退会が 108 社あり期首加入法人数 5,072 社に対して期末加入法人数は5,017 社(四輪・二輪併売店含む)となり前年同期比55 社の減となった。
 - イ 全国8ブロックで開催された適正表示推進委員会の事務局を担うとともに、委員会にて課題や規約普及の取り組みについて意見交換し、今後の課題認識や情報の共有を行った。
- (2) 二輪品質評価者(品質査定士)制度の普及
 - 二輪車ユーザーに安心と信頼を提供する品質評価書(品質査定書)の発行資格である「二輪品質評価者(品質査定士)制度」を普及促進するために、オートバイ事業協同組合と連携し、認定トレーナーの協力を得て、二輪品質評価者講習会を全国で56回開催し更新826人、新規417人、合計1,243人が受講した。

また、公取協にて更新対象者に対し実施したEラーニングシステムにて546人が受講し、平成29年度



神奈川県での二輪品質評価者講習会

の二輪品質評価者(品質査定士)は1,789人となり、有 効資格者は5,856人になった。

公取協会員の品質評価者在籍店率の向上を目指し卸販社と未在籍店情報を共有し、未在籍店の受講促進を図り、主管店の在籍店率は70.6%から69.9%と0.7ポイント減少した。

第4 プレゼンス向上活動の推進



平成29年自動車関係功労者大臣表彰式

1 平成 29 年度 陸運関係功労者及び従事者表彰

二輪車業界に長年貢献された方を業界の代表として推薦を行った。 国土交通省が行う、陸運関係功労者及び従事者表彰の推薦団体と して各部門へ推薦した結果、大臣表彰者で4名。局長表彰で功労者 表彰が22名、従事者表彰が5名、支局長表彰で功労者表彰が30名、 従事者表彰が7名受賞した。

2 グッドライダー喚起・育成

「グッドマナー JAPAN RIDERS」Web サイトの運営を中心にライダーの安全やマナーに対する意識向上を図り、広く社会における二輪車のイメージアップを図った。

- (1) グッドライダーミーティングを始めとした各種イベントならびに卸販社のイベント等にて「ジャパンライダーズ宣言」を募集した。
- (2) NEXCO 東日本・中日本とタイアップを図り、首都圏ツーリングプランの申込み時に「ジャパンライダー ズ盲言 | を利用者に必須項目として頂いた。
- (3) 「グッドマナー JAPAN RIDERS」公式 Facebook、Twitter を積極的に利用し、マナーに対する意識向上を訴えるほかイベント等の告知展開を行った。
- (4) ジャパンライダーズ宣言数は累計で72.121件(前年度53.757件)となった。

第5 二輪車の利便性、楽しさを訴求する活動の推進

1 バイク月間 イベントの開催

7月1日から9月30日までの3ヶ月間をバイク月間として、期間中「交通安全」と「バイクの楽しさ」をテーマに、各種イベントの開催等に取り組んだ。

(1) バイクの日中央イベント「~バイクの日スマイル・オン 2017~」を 8 月 19 日、東京都「サナギ新宿 / JR 新宿駅 東南口広場 (車両展示)」にて自工会と の共催で開催し、1,900 人が来場した。



バイクの日スマイル・オン2017

(2) バイク月間の主なイベント

6月10~11日: サマーツーリング in ニセコ、7月9日: バイクにフレンドシップ in さっぽろ (交通 安全パレード)、8月26日: バイクのふるさと浜松交通安全宣言パレード、9月8日: JAPANRIDERS 関東 in 筑波、9月21日: 岩国警察署合同交通安全パレード、9月21日: 高知警察署合同交通安全パレード、9月23日 \sim 24日: 2017 TOHOKU 夢ツーリング in 安比、9月23日: おおさか交通安全ファミリーフェスタ、9月24日: グッドライダー in 延岡(交通安全パレード)

2 バイク月間 広報活動

(1) バイクの日新聞広告 朝日・読売・毎日 新聞、各紙にてバイ クの日、バイク月間 に関連する記事を掲 載。業界・メディア と連携・協力し、バイ クの日及びバイク月間







<u>日本二輪車普及安全協会ニュース No.121</u>

の社会的認知向上を図った。また、同様の記事を各新聞社のデジタル版 Web サイト、バイク月間 Web サイトにも掲載した。

3 モーターサイクルショー

大阪モーターサイクルショーを主催するとともに東京モーターサイクルショーへの協力を行った。

- (1) 第34回大阪モーターサイクルショーの開催
 - 日 程 平成 30 年 3 月 16 日~ 18 日 出展者数 162 社 来場者数 70.664 人(前年比 107%)
- (2) 第 45 回東京モーターサイクルショーへの協力
 - 日 程 平成30年3月23日~25日 出展者数 135社 来場者数 146,823人(前年比100%)
- (3) 両ショーに対して団体ブースとして出展を行い協会事業の訴求活動を行なった。

第6 モーターサイクルスポーツの普及促進

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)ならびに地区 MFJ との連携により、モーターサイクルスポーツの普及促進を図るため、支所事務所に地区 MFJ 事務局を置き、MFJ の各種公認・承認競技会の一部運営を行い、カレンダー、ランキング、主催者資格、大会申請窓口等全般の管理を行った。また、地区内の施設や公認クラブの確保を図るとともに、競技者や競技役員、指導者の養成に協力を行うなど地域に根差した活動を推進した。

第7 BIKE LOVE FORUM (BLF) への参画

経済産業省、地方自治体及び二輪車関係団体にて主催する BIKE LOVE FORUM (BLF) に参画し、「二輪車産業政策ロードマップ」の実行施策である「グッドライダー喚起・育成」、「安全運転啓発・教育」等に取り組んだ。

1 第5回 BIKE LOVE FORUM in 群馬・前橋

日 程 平成 29 年 9 月 16 日 会 場 前橋テルサ 出席者数 267 人

2 BIKE LOVE FESTA in 群馬・前橋

日 程 平成 29 年 9 月 17 日 会 場 前橋公園 来場者数 約 1,600 人



第5回 BIKE LOVE FORUM in 群馬·前橋

第8 広報活動の推進

1 Web サイトよる最新情報の発信

- (1) 二輪車ユーザー・社会への情報発信
 - 日本二普協 Web サイト全体の訪問者数は、平成 29 年度 4,240,809 件(前年度比で 104,2%)となっている。
- (2) 販売店への情報発信

メール配信システムを使った全国一斉情報発信、その他各ブロック・県単位独自に販売店へメール配信 で連絡、郵送でポスターやチラシを送付し、諸活動の推進につなげた。

2 日本二普協ニュースの発行

日本二普協の事業活動について関係者へ周知を図り理解を得るため、119号(7月)と120号(2月)の2回発行し、販売店を中心に、関係機関・団体、メーカー・卸販社など全国の関係者向けに約5,000部配布した。今回は閲覧状況を確認するためのアンケートを実施。119号で17通、120号で12通、の回答を得た。「業界の状況や他県の活動など勉強になる」「お客様へのアドバイスに役立てている」などの回答が得られた。

平成30年度事業計画の概要

第1 二輪車安全運転普及活動の推進

二輪車利用者の安全を確保し、二輪車が安全で快適、便利な乗り物としてその利用が更に広がるよう、二輪車販売店(以下「販売店」という。)、関係機関・団体と連携を図りながら次の活動を積極的に推進する。

1 店頭個別安全指導活動の推進

販売店に対して、二輪車の購入者に当該地域の交通の実情を踏まえた安全運転指導を効果的に実施してもらうため、安全運転指導のポイントを記述した資料等を配布し、その積極的な活用を働きかける。

また、卸販売会社(以下「卸販社」という。)の営業担当者との連携を強化し、二輪車安全運転指導員(以下「指導員」という。)がいない販売店に対し、指導員審査の実施情報を教示して指導員資格の取得を促し、指導員在籍店の拡大を図る。

2 各種安全運転講習会の開催

二輪車利用者の安全運転技能とマナーの向上を図るとともに、利用者相互の交流を深めるため、初心運転者や交通事故死者数の多い年齢層等を対象とした安全運転講習会を計画的かつ効果的に開催する。

- (1) グッドライダーミーティングを開催する。
 - ア 予備日を設けるなどして計画した回数の実施を図り、全国で 113 回開催する。
 - イ 警察庁・都道府県警察及び関係団体と緊密な連携を図り、必要 な協力の確保を図る。
 - ウ 指導員マニュアルに基づき的確に実施されるよう指導員研修会を 開催する。
- (2) 高校生等を対象とした安全運転講習会を積極的に開催する。
 - 一般社団法人日本自動車工業会(以下「自工会」という。)から委託を受けて「高等学校交通安全教育振興事業」を実施する。実施にあたっては、既にリーダー指導員研修を行った県で、バイク通学許可生徒の多い県を選定し、高校生に対する原付安全運転講習を実施する。



グッドライダーミーティングポスター

自工会の委託事業とは別に、関係機関・団体(特に交通安全協会・二輪車安全運転推進委員会)と連携を図りながら、広く高校生等に対し高校生用原付安全運転リーフレット等を活用した効果的な安全運転講習会を開催する。

- (3) 高齢者、女性に対する安全運転講習会を開催するとともに、関係機関・団体のこれら講習会等に協力支援を行っていく。
- (4) 地域二普協が実施する安全運転講習会に協力支援するとともに、活動実績が優良な地域二普協を表彰する。

3 運転免許取得支援活動の推進

二輪免許取得を目指している者に対し、必要な情報を提供して運転免許取得を支援し、安全かつ優良な運転者を育成する。

- (1) 「原付試験問題にチャレンジ」Web サイト(通称:ゲンチャレ)については、実技編を含め、原付免許取得支援に終わることなく、原付車両の利便性、経済性の高さをアピールするなどしてより一層の利用促進を図る。
- (2) 「バイクと法令」「原付と安全運転」(警察庁監修)の利用促進を図る。

4 二輪車安全運転推進運動の実施

秋の全国交通安全運動と連動し、9月11日(火)から9月30日(日)までの20日間、関係省庁の後援と関係団体の協力、協賛を得て、全国の販売店参加の下に「二輪車安全運転推進運動」を実施する。期間中は以下の活動を重点的に推進する。

- (1) 街頭点検指導に併せて安全運転指導を実施する。
- (2) 「バイクの安全な乗り方」等を活用して店頭個別安全指導を実施する。
- (3) ヘルメットの正しい着用の推進とプロテクター装着を奨励する。

5 関係機関・団体との連携活動の推進

関係機関・団体と緊密に連携して、各種交通安全運動や交通安全大会の後援、協力、支援を行うとともに、二輪車安全運転指導員の養成などに積極的に協力する。



二輪車安全運転推進運動ポスター



交通安全アクション2018

- (1) 一般社団法人日本自動車会議所主催の交通安全をテーマにした体験型イベント「交通安全アクション 2018」に参画し、二輪車の交通安全意識の高揚と啓発を図る。この他、関係機関・団体が行う各種交通安全運動、講習会、イベント等に参画し、協力、支援する。
- (2) 第50回を最後に二輪車安全運転全国大会が終了となったことから、自工会及び4メーカー・卸販社並びに当協会から指名を受けた者で構成するWG会議を開催し、終了した全国大会に代わる全国規模の二輪車安全運転大会を来年度から実施するため必要な対応を図る。また、県大会を実施する県交通安全協会に対しては、引き続き同大会の後援、協力、支援をし、大会の活性化を図る。
- (3) 二輪車安全運転特別指導員・指導員の審査及び研修会に協力する。

中央及び地方の二輪車安全運転推進委員会が実施する審査及び研修会に講師を派遣するなど必要な協力を行う。

(4) 地域二普協との連携強化を図る。

地域二普協が行う安全運転講習会、街頭点検指導、イベント等を積極的に支援し、より一層の連携強化 による地域の交通安全活動の活性化を図る。

第2 二輪車防犯活動の推進

グッドライダー・防犯登録(以下「G防登録」という。)及び二輪車盗難照会システムの普及促進を図り、 二輪車の盗難防止と盗難二輪車の早期発見、市場流通の防止、被害回復及び二次犯罪の防止を図る。

1 G防登録の推進

- (1) G防登録の加入促進を図る。
 - ア 前年登録実績の5%増の登録計画を策定し積極的推進を図る。
 - G防登録制度の周知徹底方策の推進、G防登録推進用パンフレット等の配布等を行い、G防登録実施が円滑に推進出来るよう図る。

各支所においては、卸販社に協力を依頼し、販売店に出向き、G防登録実施への積極的な取り組みを働きかけるとともに、管内の販売店のG防登録実施に係る動向把握に努める。

- イ 卸販社に対し新車出荷登録55%を目標とした登録率向上対策の推進を卸販社に要請する。
- ウ 関係団体に対しG防登録の実施を要請する。

都道府県のオートバイ事業協同組合に対し、G防登録を実施して頂くための具体的な話し合いを進め、 出来る限り多くの組合傘下販売店のG防登録実施を図る。

また、その他の団体にあっても、G防登録の実施が適正に推進できると認められる団体については、本部又は支所が当該団体にG防登録の実施を要請し、当該団体のG防登録実施を図る。

- (2) G防登録普及促進月間の効果的推進を図る。
 - ア 卸販社の協力を得て、販売店に対しユーザーにG防登録制度について懇切丁 寧な説明とともに、G防登録を推奨して頂き販売する全車にG防登録が実施さ れるよう要請する。
 - イ 地域のイベント、交通安全運動等の際に、広くG防登録制度の認知向上を図る。
 - ウ 警察庁の後援を得て、全国の警察本部及び警察署に告知ポスター及び三つ折りリーフレットを掲示及び警察官に配布して頂き、警察部内におけるG防登録制度の認知向上、普及促進を図る。
- (3) G防登録制度の推進について優秀である支所及びG防登録実績が優良な販売店 に対し表彰を行い、登録率向上に向けた意識高揚を図る。



G防普及促進月間ポスター

2 二輪車盗難照会システムの利用促進

警察が保有する盗難二輪車情報の提供を受けて二輪車盗難照会システムを運用し、同システム加入者からの照会に応ずるとともに、同システムの的確な運用を図る。また、同システムに未加入の販売店等に対しては、引き続き加入促進を図る。

- (1) 盗難照会システムに加入するには年間12件以上のG防登録実績が必要である旨の徹底と周知を図る。
- (2) 廃棄二輪車取扱店に対して二輪車盗難照会システムの利用促進を図る。
- (3) 二輪品質評価者が在籍する販売店で、盗難照会システム未加入販売店に加入促進を図る。

第3 流通業務活動の推進

二輪車の使いやすい環境をめざし、二輪車ユーザーの利便性を高めるべく次の活動を推進する。

1 二輪車の利用環境の改善

- (1) 二輪車の駐車環境改善の促進とユーザーの駐車場利用啓発を行う。
 - ア 主要な自治体と情報交換を行うとともに、駐車関連条例改正と駐車場整備助成制度の拡充を求める。
 - イ 都道府県警察に対しては、一層の連携強化を求める。
 - ウ 駐車場関連団体と情報交換を行い、民間駐車場事業者に二輪車駐車場整備への参入を働きかけるなど 二輪車駐車場整備への協力を求める。
 - エ 「全国バイク駐車場案内」Web サイトの活用を広く呼びかけるとともに、駐車場利用を啓発する。
- (2) 二輪車通行規制区間の情報発信を行う。
 - ア Web サイトに二輪車通行規制区間情報を掲載し、ユーザーへの認知を図る。
 - イ 都道府県警察にご協力頂き二輪車通行規制区間情報の年度更新を行う。
- (3) 二輪車の利用環境改善のために必要な情報収集と情報提供を行う。
 - ア 二輪車ユーザーから駐車場設置要望を募集し、自治体や関連団体、民間事業者へ情報提供を行う。
 - イ 二輪車ユーザーから通行規制区間についての要望を収集し、警察庁、都道府県警察へ情報提供を行う。

2 公正な二輪車取引の推進

一般社団法人自動車公正取引協議会(以下「公取協」という。)と連携し、ユーザーが安心して二輪車の売買が出来るように、販売店に「二輪車公正競争規約」の遵守を求め、本規約に準じた「二輪品質評価者制度」の普及を図る。

- (1) 公取協へ未加入の販売店に対する入会促進を継続し、「二輪車公正競争規約」を遵守した適正な表示が 推進されるよう活動する。
- (2) 二輪品質評価者(品質査定士)制度を普及する。

関係団体と協力して二輪品質評価者講習会を全国で開催し、信頼される販売環境づくりに寄与することと合わせて、より効果的な制度の普及展開を公取協と協議する。

第4 プレゼンス向上活動の推進

販売店の社会的地位向上及び二輪車のイメージアップを図るべく推進する。

1 陸運関係功労者及び従事者表彰

二輪車販売店の社会的地位向上の為、国土交通省、地方運輸局に対して、自動車関係事業の販売、整備、運輸の各分野において多年精励され、功績顕著である者を選出し、推薦する。

2 グッドライダー喚起・育成

グッドマナー JAPAN RIDERS Web サイトの運営を中心にライダーの安全やマナーに対する意識の向上を図り、マインド面からライダーの交通事故抑制に結びつけることで広く社会における二輪車のイメージアップを図る。

- (1) バイク月間イベントや安全運転講習会、関係団体、販売店等において積極的に宣言を募集する。
- (2) SNS を利用し情報発信と拡散を図り、広く社会へアピールする。
- (3) 二輪車関連 Web サイトと効果的な連携を行い宣言数の拡大を図る。



ジャパンライダーズ宣言募集バナー

第5 二輪車の利便性、楽しさを訴求する活動の推進

二輪車の楽しさ、利便性・有効性などバイクライフの素晴らしさを、より多くの皆様にご理解頂くべく活動を推進する。

1 バイク月間

- (1) バイクの日中央イベントを自工会との共催にて開催する。
- (2) バイク月間 (7月~9月) において、「交通安全」と「バイクの楽しさ」をテーマにしたイベントの主催、 後援、協力、出展等の活動を全8ブロックで行う。
- (3) 広報活動を推進する。

2 モーターサイクルショー

大阪モーターサイクルショーを開催するとともに東京モーターサイクルショーへの協力を行い、団体ブースに出展し協会事業の訴求活動を行う。

第6 モーターサイクルスポーツ普及活動の推進

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(以下「MFJ」という。)並びに地区 MFJ との連携強化により、健全なモーターサイクルスポーツの普及促進を図るため、支所事務所に地区 MFJ 事務局を置き、MFJ の各種公認・承認競技会の一部運営を行う。また、地区内の施設や公認クラブの確保を図るとともに、競技者や競技役員、指導者の養成を行うなど、地域に根差した活動を推進する。

第7 BIKE LOVE FORUM (BLF) への参画

経済産業省並びに関係自治体、業界団体にて主催する BIKE LOVE FORUM (BLF) に参画し、業界の課題解決の為「二輪車産業政策ロードマップ」の施策である「グッドライダー喚起・育成」、「安全運転啓発、教育」等に取り組む。

第8 広報活動の推進

Web サイトやメールマガジンなどによる情報発信、日本二普協ニュースの発行などにより、日本二普協の諸活動及び関連する情報を効果的に発信し、二輪車の利用促進と利用環境の改善に寄与する。

平成29年度優秀都府県地区表彰

定時総会終了後に「平成29年度優秀都府県地区表彰式」が開催され、茨城県、栃木県に警察庁交通局長・生活 安全局長と日本二普協会長の三者連名表彰、福井県、岩手県、群馬県、香川県に日本二普協会長表彰が授与され ました。

●警察庁交通局長・生活 安全局長と日本二普協会長の三者連名表彰



茨 城 県



栃 木 県

●日本二普協会長表彰



福井県



岩 手 県



群馬県



香 川 県

受賞者代表謝辞

茨城県支所(茨城県二普協)会長 小岩井 彰

ただ今、栄えある賞をいただき誠にありがとう ございます。

本日、表彰をいただきました六府県二輪車普及 安全協会を代表いたしまして、お礼の言葉を申し 上げます。

私どもは、日頃より、お客様に対する安全・安心、そして二輪車を取り巻く環境の向上に取り組んでおります。

なかでもグッドライダー・防犯登録制度の推進、 グッドライダーミーティングの開催につきまして は、私どもの最も重要な責務として、警察本部等 のご指導をいただきながら取り組んでいるところ でございます。

今回賜りました栄誉にお応えするためにも、

引き続きグッドライダー・ 防犯登録制度の積極的な推 進、グッドライダーミー ティングのさらなる充実に 一層努めてまいる所存であ ります。



また、二輪車盗難照会システムの加入促進、駐車場の整備促進や公正な取引環境の確保など二輪車ユーザーの皆様の利便性の向上にも努め、一人でも多くの二輪車ユーザーが増えますよう日々業務を推進して参りますので、警察庁をはじめ、関係各位の今まで以上のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げる次第であります。

おわりに、本日ご臨席の皆様方の益々のご健勝 とご発展を祈念いたしまして、お礼の言葉とさせ ていただきます。

ありがとうございました。

定時総会後の意見交換会ご挨拶

会長 伊東孝紳



皆さんこんばんは、意見交換会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、警察庁 長官 官房審議官 長谷川豊様をはじめ警察庁、経済産業省の皆様、また

二輪車関係団体の皆様には、ご多忙中にもかかわらず多数ご出席を賜りまして、まことにありがとうございます。 また、先程、活動実績優秀県として警察庁交通局長、生活安全局長と日本二普協会長の三者連名表彰を受賞されました茨城県をはじめ、受賞されました県の皆様に、心よりお祝いを申し上げますとともに、今後、尚一層のご活躍をお祈り致します。

さて、本日定時総会では、皆様方には熱心なご審議を賜り、予定していました全議案のご承認を頂きました。 この場をお借りしまして、お礼を申し上げます。

依然として、二輪車市場は低迷状況が続いておりますが、私共といたしましては、グッドライダーミーティングやグッドライダー・防犯登録などの諸活動を通じ、二輪車ユーザーの皆様が二輪車を安全に安心して利用され、これにより一人でも多くの新たなユーザーが二輪車利用の輪に加わって頂けるよう本部、支所が一体となって取り組んで参ります。関係機関、団体の皆様には、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いする次第であります。

本席は、日頃、お仕事が忙しく、お話し合いをする機会もなかなかお取り頂けない皆様方に、限られた時間ではございますが意見交換の場として頂きたく、設けさせていただきました。時間の許す限りご歓談いただければと思っております。

終わりに、ご出席の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせて頂きます。



伊東会長



林田専務





歓 談 風 景



ご来賓

日本自動車工業会二輪車特別委員会 川瀬信昭二輪車企画部会長



日本自動車工業会 二輪車特別委員会 二輪車企画部会長の川瀬と申します。

意見交換会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日ご列席の皆様方には、平素より自工会活動にご理解とご協力を賜っておりますことに対し、この場をお借りして御礼申し上げます。

また、日本二輪車普及安全協会様には、日頃より交通安全施策をはじめ、G防犯、二輪車駐車場問題など二輪車ユーザー利用環境整備に積極的に取組んでいただき誠に有難うございます。

今後とも自工会との一層の活動連携をお願い致したいと存じます。

さて、国内における二輪車新車販売の状況ですが、2017年は35万7千台と、前年より5.7%増加との実績となっており、数字だけを見れば国内販売は4年ぶりに増加に転じたということになりますが、これは2016年4月に発生した熊本地震の影響により、2016年の生産・出荷台数が落ち込んだ影響によるものであり、実態としては原付需要の落ち込みにより、依然として全体的には足踏みの状況が続いていると認識しております。

このような状況を踏まえ、自工会では、若者ノンライダーの皆さんに、二輪車に関心を持っていただき、二輪車免許の取得に結びつく具体的施策立案に向けた調査を現在実施しておりますが、こうした若者・新規層だけでなく、現在二輪車にお乗りいただいているユーザーの皆様、国内には減ったとは言え 1,100 万台の保有二輪車が存在していますので、これらの既存二輪ユーザーの皆様に少しでも長く二輪車に乗り続けていただく為の支援策も強化して行く必要があると考えています。

一方で、今年に入り、交通事故による死者数が全体として減少している中、近年減少傾向となっていた原付の 交通死亡事故が急上昇しており、二輪車の安全運転普及活動を粘り強く続け、手が届き難いユーザー層にまで活 動を広げる必要性を改めて感じている処でございます。

二輪車事故が減少し、危険イメージが低減する事、願わくは危険イメージが払拭される事が二輪車の社会的プレゼンスの向上に繋がるものと考えておりますので、引き続きのご支援をお願いさせていただき、私のご挨拶とさせていただきます。

引き続きまして、日本二輪車普及安全協会様、警察関係者様のますますのご発展と、ご臨席の皆様のご健勝を 祈念し、乾杯させていただきます。



川瀬二輪車企画部会長







歓 談 風 景

10000

「G防登録普及促進月間」を終えて

昨年に引き続き、G防登録普及促進月間を本年4月1日から6月30日までの間、警察庁並びに全国のホンダ、ヤマハ、スズキ、カワサキの4銘柄各社、全国オートバイ協同組合連合会のご後援を頂き、G防登録取扱い販売店及び新規取扱販売店のご協力を得て全国展開を致しました。この間、関係各位から賜りましたご支援ご協力に対して、厚くお礼申し上げます。

G防登録制度は登録された二輪車のデータを警察庁に提供し、警察庁においてはそのデータを全国の警察本部とのオンライン網に載せ。都道府県警察においては防犯活動において24時間、不審車両のチェックが出来、盗難車両の早期発見、また被害回復に資するもので二輪車の盗難防止に大きな効果があります。また、G防登録を行ったユーザーは、体験型安全運転講習会「グッドライダーミーティング」に参加することが出来、運転についての不安を解消するとともに、安全運転技能に磨きをかけることも出来ます。



こうした二輪車の防犯のみならず安全運転にも大きなメリットを有するG防登録ですが、このことが二輪車ユーザーの皆様に伝わっていないことなどから、この制度のメリットを二輪車販売店様を通じて、ユーザーの皆様によく理解して頂き、G防登録をして頂けるようG防登録普及促進月間を展開致しました。

G防登録普及促進月間中の登録実績は、63.503件、前年同期比で95.9%という結果でした。

「全国規模の二輪車安全運転大会実施に向けた検討WG」の設置について

(一財)全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員会主催で実施されてきた二輪車安全運転全国大会は、昨年8月の第50回大会をもって終了となりました。この全国大会終了の知らせが出て間もなく、10数県が全国大会が実施されなくなったことから県大会を実施しないこととなりました。また、来年は県大会を実施することとした県の中にも全国大会がなくなり出場者が減少することになれば翌年は実施しないこととするなど、県大会を実施する県がどんどん減少する傾向が伺われました。そもそも県大会は全国大会の予選会的なところがあります。その出場者は全国で約1,500名に及び、また、出場者の中から安全運転指導員や地域でバイクユーザーのための安全運転推進を実施するリーダーが育つなど、県大会は二輪車の交通安全確保に欠かせない重要な役割を担ってきました。二輪車の安全運転普及活動を推進している当協会としては、現下の二輪車の交通事故発生状況下にお

いては、すべての県においてこれまでどおり県大会が実施されることが必要であると考え、日本自動車工業会、4メーカー・卸販社及び当協会で構成する「全国規模の二輪車安全運転大会実施に向けて検討するワーキンググループ」を3月に設置し、平成31年度からの実施に向け準備を進めています。

改めまして関係する皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



「グッドライダーミーティング」自動二輪車による交通事故抑止を目指す

■グッドライダーミーティングの目的

日本二普協の重点施策であるグッドライダーミーティング(以下「Gミーティング」という。)は、グッドライダー・防犯登録加入時にグッドライダー宣言をおこなった方であれば、誰でも気軽に参加できる体験型の運転実技訓練です。運転の不安解消や上達する楽しさを通じ個人の規範意識が顕在化し、受講者

自ら安全行動を身に付けることができる安全運転講習を目指しています。

この体験型講習会では運転技術の向上とともに、自己の技量を自覚・把握出来ることにより、混合交通の中においても危険要素への感受性が高まることから、交通ルールとマナーを重んじるグッドライダーを育成し、二輪車事故の抑止に寄与するものであります。



●Gミーティングの開催

G ミーティングは、本年度全国で 113 回 (昨年度実績 113 回) 開催を予定しています。動員目標 3,960 人 (同 3,853 人) です。このうち女性対象のレディースミーティングは 11 回、高齢者講習も 2 回を計画しております。

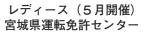
警察庁によると、平成29年中も自動二輪運転者による死亡の年齢は40・50代で41.7%と高い傾向が続いています。一方、平成29年度のGミーティングは40・50代の参加者が約70%と、事故率の高い年齢層と合致しており、本年度も引き続きこの年代のライダーへのアプローチを強化することにより、事故抑止を目指してまいります。

そして、今後もGミーティングを安定的に開催していく為に、中長期の運営に関する方向性を本年度中に定めるべく進めていきます。

●開催風景

神奈川県運転免許試験場(4月開催)









●平成30年度Gミーティング県別開催計画・実績

平成30年4月~6月末

二普協	開催計画	動員目標	開催実績	中止	動員実績	内 女性	内初 参加	指導員数	警察数	内白バイ	二普協数	安協数	二普協	開催計画	動員目標	開催実績	中中	動員	内 女性	内初 参加	指導員数	警察数	内白パイ	二普協数	安協数
北海道	6	300	3		171	31	28	38			6	6	滋賀	2	80	1		23	6	5	6	1		1	1
青森	1	40											京都	3	80	2		45	9	13	7	14	11	3	2
岩手	3	90	1		42	6	11	13			1	2	大阪	2	70	1		44	18	25	9	2	1	3	2
宮城	4	140	2		65	26	14	28	4	4	2	5	兵庫	4	110	2		47	10	15	9	9	7	4	4
秋田	1	30	1		33	6	16	2	5	5	2	1	奈良	3	100	2		32	9	11	9	3	2	5	3
山形	1	30	1		16	2	5	10	2	3	4	11	和歌山	2	80	1		36	9	20	6	1		2	3
福島	1	35											鳥取	2	60	1		35	8	12	10	4	3	2	4
東京	5	230	1	1	46	8	13	13	3	2	2		島根	1	50	1		21	2	12	5			2	2
茨城	3	110	1		40	4	14	12	6	_	2	1	岡山	2	80	1		35		11	12	4	2	1	6
栃木	2	100	1		54	7	29	14	6	4	2	3	広島	2	80	1		34	4	11	12	4	2	3	3
群馬	2	80			57	8	16	14	9	4	2	8		- 1	40										
埼玉	5	300			181	22	36	36	25	8	4	6	P. C S	1	30										
千葉	5	270	1		63	10	15	15	7	6	3	4	香川	1	30	1		38	3	16	8	5	4	4	
神奈川	4	120			43	8	10	17	1		2	1	愛媛	2	60	1		14	14	6	3	3	3	4	
新潟	2	120			72	7	18	12	5	3	2	1	高知	1	40										
山梨	4	100			39	5	13	16		2	3		福岡	1	20	1		36	4	23	5	4	3	3	
長野	2	55	_		44	2	14	24	10	4	4	6	12.7	2	35	1		19		8	5	2	1	3	2
静岡	2	80	_		41	5	15	8	8	6	3		長崎	2	40	1		26	3	12	5	4	2	6	2
富山	5	135	2		69	4	11	16			4	2	熊本	2	40	1		18	2	5	4	3	2	3	
石川	2	40	_		15	2	2	8				1	大分	6		3		56	6	28	19	6	3	1	3
福井	1	30	_										宮崎	2	40	1		11	3	5	7	4	3	3	2
岐阜	1	50	1		37	4	13	9	3	3	3		鹿児島	2	40	1		21	10	2	5	2	2	5	10
愛知	3	80	2		55	28	25	14	5	5	4		沖縄	1	30	1		27	6	8	9			4	5
三重	1	40	1		37	6	18	7	8	7	2	4	合計		3,960	54	1	1,838	327	584	481	182	119	119	116
・レディー			京、多				神奈				、阪、乒	を庫、	計画進			48%		46%							
愛媛、計	11回	- 高	齢者:	宮坂	或 ・高	5校生	:島根	• 原	付:奈	良			前年進	捗率		45%		41%							

NEXCO「ETC搭載の二輪車限定ツーリングプラン」のお知らせ

NEXCO東日本・NEXCO中日本・NEXCO西日本は11月30日(金)までの期間、ETC搭載の二輪車限定ツーリングプランを全国13コース用意し発売しております。お得に使ってツーリングをお楽しみください。

このプランは、観光地やツーリングスポットの活性化、高速道路の利用促進を図る目的で実施されるもので、ETC搭載の二輪車を対象に期間限定で実施するもので、最大2日間(一部コースは最大3日間)、対象エリアの高速道路が定額で乗り降り自由となる割引企画商品です。

また、8月1日より1か月間「バイクラブフォーラムー関スペシャルコース」と銘打ち対象エリアを岩手県まで大幅に拡大したプラン(連続した4日間)も発売されます。

高速道路では特にスピードの出し過ぎや、車間距離不足。路肩や車の間をすり抜けての無理な追越走行などで事故を想像してしまいますが、自動車やトラックに巻き込まれての事故も増えてます。二輪車は車の死角に入りやすいので、ライダーは自分のライディングだけでなく周囲の車の状況にも注意しながら走行しましょう。ドライバーの皆様も車線変更の際などは十分にご注意して頂きますようお願い致します。

高速道路での走行もゆとりをもって、快適、安全に楽しみましょう。 ※ツーリングプランの詳細は、NEXCO各社のWebサイトでご確認下さい。



「バイク月間」のロゴが新しくなりました



#バイク月間

2007年7月にスタートしたバイク月間、二輪業界関係団体では、8月19日のバイクの日を中心に「7・8・9月はバイク月間」と定め「交通安全」と「バイクの楽しさ」をテーマに様々な活動を展開してまいりました、今年は統一ロゴを設け、安全マインド向上を啓発し、ユーザー以外の人々にも二輪車への興味を持って頂く機会として訴求力を強化してまいります。「#バイク月間」で各種 SNS での拡散もご協力お願い致します。 https://www.jmpsa.or.jp/bikegekkan/ バイク月間 検索 、

「バイクの日スマイルオン2018」のお知らせ

2018 年の『バイクの日:8月19日』は日曜日です。8月19日に『バイクの日スマイル・オン 2018』を東京・秋葉原で開催致します。

このイベントは、1989年に政府が二輪車の交通事故撲滅を目的として制定した『バイクの日:8月19日』に、二輪車ユーザーだけでなく広く社会一般の皆様へ、交通安全意識の啓発と『バイクの日:8月19日』の社会的認知の向上を図るとともに、バイクの楽しさ・魅力を感じて頂くために開催するものです。

今年の『バイクの日スマイル・オン 2018』は「ベルサール秋葉原」で 12:00 ~ 16:00 の予定で開催致します。 当日は、山口智充さん、中野真矢さん、古澤恵さん、下川原利紗さん、桐生美希さんによるトークショーと、 壇蜜さん、中野真矢さん、古澤恵さん、下川原利紗さん、桐生美希さんによるトークショーが予定されています。 また、警視庁交通安全ステージやゲーム大会ステージ、グッドマナー JAPAN RIDERS 宣言、屋内外でバイクの展示も行われます。

みなさん、8月19日の日曜日は、ぜひ秋葉原にお越しください!!!

「第43回二輪車安全運転推進運動」実施のお知らせ

二輪車を利用する方の安全を確保し、安全で快適な道路交通社会の実現に資するため、関係省庁の後援を得て、 家庭・学校・職場・関係諸団体と連携を密にし、二輪車の交通事故防止並びに二輪車の盗難予防及び被害早期回 復を図ることを目的に次の通り運動を実施致します。

1 期 間

平成30年9月11日 (火) から9月30日 (日) までの20日間

2 運動の重点

「交通ルールの遵守・マナーアップ」を重点とした安全運転の指導

3 運動の具体的推進項目

①ヘルメットの正しい着用方法の指導啓発とプロテクター着用の推奨 統一標語として、

「ヘルメット あごひも しっかり締めて(指一本が入る程度) プロテクターで胸部を守ろう」

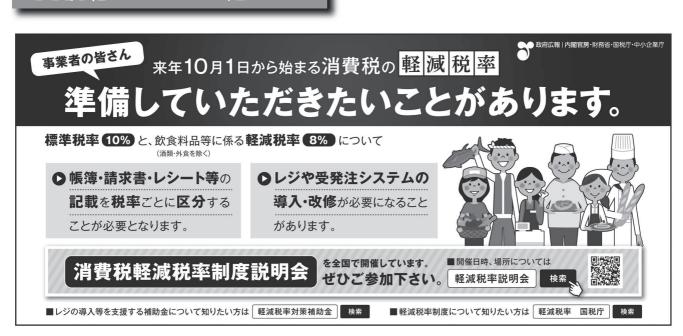
- ②グッドライダーミーティングの開催
- ③店頭個別安全指導活動の推進
- ④街頭点検指導活動の推進
- (5)本推進運動のポスター・チラシ等の掲出・配布

4 運動推進に当たっての留意事項

- ①関係各機関・団体と連携し、それぞれの特色を活かした国民総ぐるみ運動として推進する。
- ②本推進運動用のポスターや日本二普協のWebサイトの活用等のほか、各種イベント会場等における広報活動や新聞、テレビ、ラジオ等の広報媒体との連携等、各種広報活動を積極的に推進する。



国税庁からのお知らせ



統計 1 都道府県別二輪車乗車中死者数(平成30年6月末)

6月末の二輪車乗車中死者数は265人で前年同期比5人減。

全交通事故者数は1,603人で72人減となっている。

		自二車	乗車中列	死者数	原付車	乗車中?	死者数				<u></u>	主死者数	数
ı		30年	増減数	29年	30年	増減数	29年	30年	増減数	29年	30年	増減数	29年
<u> </u>		6月末		6月末	6月末		6月末	6月末		6月末	6月末		6月末
北		1	△ 2	3	0	0	0	1	△ 2	3	62	4	58
_	<u>青森</u>	0	Δ1	1	0	0	0	0	Δ1	1	21	1	20
東	岩手	1	0	1	0	Δ1	1	1	Δ1	2	30	1	29
	宮 城 秋 田	1	△ 1 0	2 1	0	1 △ 2	0	<u>2</u> 1	0 △ 2	2	25 19	8 9	17 10
北	山形	0	0 △ 1	1	0	△ 2 △ 1	1	0	\triangle 2	2	18	9 △ 2	20
1	福島	1	△ 3	4	3	2	1	4	△ 1	5	34	10	24
	計	4	Δ 6	10	4	Δ1	5	8	Δ 7	15	147	27	120
H	 東 京	15	4	11	6	5	1	21	9	12	61	△ 9	70
	茨城	3	△ 2	5	5	3	2	8	1	7	61	△ 5	66
	栃木	4	0	4	2	1	1	6	1	5	42	△ 2	44
関	群馬	4	2	2	1	Δ 2	3	5	0	5	22	Δ 3	25
	埼玉	5	Δ7	12	5	Δ 2	7	10	△ 9	19	89	7	82
	千 葉	13	1	12	7	5	2	20	6	14	91	18	73
	神奈川	18	10	8	6	1	5	24	11	13	71	4	67
l_	新潟	1	0	1	0	△ 1	1	1	△ 1	2	42	7	35
東	<u>山梨</u> 長野	3	0	3 1	0 1	<u>△ 2</u>	2 0	3	△ 2 3	5 1	20 28	3 △ 2	17 30
	静岡	5	∠ △ 2	7	6	0	6	11	3 △ 2	13		\triangle 11	62
	<u> </u>	59	4	55	33	4	29	92	8	84	517	16	501
	富山	3	3	0	0	0	0	3	3	0	21	5	16
中	岩川	0	Δ 2	2	0	0	0	0	Δ 2	2	15	△ 4	19
	福井	2	Δ1	3	0	0	0	2	Δ1	3	15	Δ 6	21
	岐 阜	8	5	3	1	0	1	9	5	4	44	7	37
部	愛知	11	2	9	9	7	2	20	9	11	95	3	92
	三 重	3	2	1	4	3	1	7	5	2	38	Δ1	39
	計	27	9	18	14	10	4	41	19	22	228	4	224
,_	滋賀	0	△ 2	2	0	△ 1	1	0	△ 3	3	16	△ 2	18
近	京都	1	△ 9	10 18	0 7	△ 3	3	1 26	△ 12	13	16 67	△ 19	35 65
	大 阪 兵 庫	19 8	1 △ 3	11	4	0	7 3	12	1 △ 2	25 14	68	2 △ 4	72
畿	奈良	0	△ 5	5	2	2	0	2	△ 3	5	15	Δ 11	26
	和歌山	3	0	3	2	2	0	5	2	3	16	2	14
	 計	31	Δ 18	49	15	1	14	46	△ 17	63	198	△ 32	230
	鳥取	1	1	0	1	1	0	2	2	0	8	Δ7	15
中	島根	0	Δ1	1	0	0	0	0	Δ1	1	10	Δ 3	13
	岡山	6	4	2	1	△ 2	3	7	2	5	32	△ 13	45
国	広島	5	4	1	3	0	3	8	4	4	51	11	40
	<u></u> 一	0	△ 3	3	1	1	0	1	△ 2	3	20	△ 10	30
<u> </u>	計	12	5	7	6	0	6	18	5	13	121	△ 22	143
	徳島	1	1	0	0	0	0	1	1	0	13	0	13
四国	香 川 愛 媛	3 2	1	2	2	0 △ 3	<u>2</u> 5	5 4	1 △ 3	<u>4</u> 7	19 21	△ 9 △ 16	28 37
	高知	0	0 △ 1	1	0	0	0	0	\triangle 3	1	12	0	12
	計	6	1	5	4	△ 3	7	10	△ 2	12	65	△ 25	90
	福岡	4	 △ 4	8	5	4	1	9	0	9	65	3	62
	佐賀	3	1	2	0	0	0	3	1	2	14	△ 2	16
九	長崎	1	Δ1	2	3	2	1	4	1	3	17	Δ 6	23
	熊本	2	△ 2	4	1	0	1	3	△ 2	5	25	△ 12	37
	大 分	2	Δ1	3	0	Δ1	1	2	△ 2	4	16	△ 2	18
州	宮崎	0	0	0	0	△ 2	2	0	△ 2	2	19	△ 6	25
	鹿児島 沖縄	2 4	1 △ 7	1 11	0	△ 6 △ 2	7	3	△ 5 △ 9	8 13	26 22	△ 10 0	36 22
	計	18	△ 13	31	10	△ 5	15	28	△ 18	46	204	△ 35	239
	合 計	173	△ 16	189	92	11	81	265	△ 5	270	1,603	△ 72	1,675

統計2 グッドライダー防犯登録(6月末現在)

5月と6月はほぼ前年並みとなっているが、4月から6月累計でみると前年比2.9%のマイナスとなり、 1月から6月累計では、前年比3.2%のマイナスとなっている。

		5	в		
開始年月	都道府県	H29	H30	増減	前年比
H10/ 6	北海道	227	239	12	105.3
H10/ 1	青森県	146	123	△ 23	84.2
H10/ 4	岩手県	120	79	△ 41	65.8
H 9/8	宮城県	596	530	Δ 66	88.9
H10/ 1	秋田県	47	52	5	110.6
H10/ 1	山形県	92	65	△ 27	70.7
H10/ 1	福島県	94	70	△ 24	74.5
	東北計	1,095	919	△ 176	83.9
H 8/ 4	東京都	2,032	2,069	37	101.8
H13/10	茨城県	335	387	52	115.5
H 9/10	栃木県	116	123	7	106.0
H11/11	群馬県	184	217	33	117.9
H 9/ 4	埼玉県	1,177	1,186	9	100.8
H10/ 6	千葉県	627	648	21	103.3
H10/ 7	神奈川県	1,639	1,792	153	109.3
H 8/ 4	新潟県	135	137	2	101.5
H12/ 4	山梨県	376	318	△ 58	84.6
H10/ 1	長野県	160	163	3	101.9
	関東計	6,781	7,040	259	103.8
H12/ 8	静岡県	699	533	Δ 166	76.3
H10/ 7	富山県	49	31	Δ 18	63.3
H10/ 7	石川県	26	36	10	138.5
H10/ 7	福井県	75	51	△ 24	68.0
H14/ 4	岐阜県	68	61	Δ7	89.7
H14/ 4	愛知県	1,103	1,063	△ 40	96.4
H10/11	三重県	136	258	122	189.7
	中部計	2,156	2,033	△ 123	94.3
H10/ 4	滋賀県	309	402	93	130.1
H 9/ 8	京都府	1,280	1,309	29	102.3
H10/12	大阪府	3,084	3,202	118	103.8
H10/11	兵庫県	1,153	1,117	△ 36	96.9
H10/ 9	奈良県	176	291	115	165.3
H10/ 4	和歌山県	264	269	5	101.9
	近畿計	6,266	6,590	324	105.2
H10/12	鳥取県	44	22	Δ 22	50.0
H10/ 1	島根県	126	98	△ 28	77.8
H11/ 1	岡山県	746	606	Δ 140	81.2
H10/ 4	広島県	1,981	1,798	Δ 183	90.8
H11/ 4	山口県	249	193	△ 56	77.5
	中国計	3,146	2,717	△ 429	86.4
H11/ 1	徳島県				59.4
H11/ 1	香川県	101	60 193	△ 41 8	104.3
H10/ 9	愛媛県	185 945		163	117.2
H12/ 4	高知県	216	1,108 196	△ 20	90.7
11107 11					
1130 1 1	四国計	1,447	1,557	110	107.6
H10/4	福岡県	650	573	△ 77	88.2
H10/11	佐賀県	21	26	5	123.8
H10/ 4	長崎県	69	74	5	107.2
H10/ 5	熊本県	293	300	7	102.4
H10/10	大分県	117	66	△ 51	56.4
H10/ 9	宮崎県	92	84	Δ 8	91.3
H 8/ 4	鹿児島県	147	136	Δ 11	92.5
H10/10	沖縄県	248	199	△ 49	80.2
	九州計	1,637	1,458	△ 179	89.1
	全国計	22,755	22,553	△ 202	99.1

6.		増減	前年比
H29	H30		
186	237	51	127.4
134	85	△ 49	63.4
95	85	△ 10	89.5
525	587	62	111.8
44	44	0	100.0
84	63	△ 21	75.0
93	81	△ 12	87.1
975	945	△ 30	96.9
1,892	1,925	33	101.7
359	344	△ 15	95.8
151	155	4	102.6
210	203	Δ7	96.7
1,253	1,200	△ 53	95.8
653	601	△ 52	92.0
1,807	1,864	57	103.2
154	122	△ 32	79.2
186	189	3	101.6
162	186	24	114.8
6,827	6,789	△ 38	99.4
572	567	△ 5	99.1
41	28	△ 13	68.3
14	10	△ 4	71.4
96	46	△ 50	47.9
52	82	30	157.7
972	932	△ 40	95.9
405	232	△ 173	57.3
2,152	1,897	△ 255	88.2
278	318	40	114.4
1,158	939	△ 219	81.1
2,661	2,617	△ 44	98.3
1,065	954	Δ 111	89.6
183	168	△ 15	91.8
218	249	31	114.2
5,563	5,245	△ 318	94.3
41	42	1	102.4
108	103	∆ 5	95.4
563	527	△ 36	93.6
1,692	1,594	△ 98	94.2
246	266	20	108.1
2,650	2,532	△ 118	95.5
62	79	17	127.4
145	203	58	140.0
674	1,334	660	197.9
154	260	106	168.8
1,035	1,876	841	181.3
476	437	△ 39	91.8
18	12	Δ6	66.7
66	60	Δ6	90.9
266	272	6	102.3
115	107	Δ 8	93.0
61	102	41	167.2
116	118	2	101.7
339	196	△ 143	57.8
1,457	1,304	△ 153	89.5
20,845	20,825	△ 20	99.9
20,040	23,020		00.0

4月~6	月累計	増減	前年比	1月~6	月累訂
H29年度	H30年度			H29	H3
703	740	37	105.3	731	
447	374	△ 73	83.7	509	
393	336	△ 57	85.5	459	
1,829	1,816	Δ 13	99.3	2,790	2,
154	154	0	100.0	180	
318	233	△ 85 △ 51	73.3	408	
302	251		83.1	440	
3,443	3,164	△ 279	91.9	4,786	4,
5,868 1,075	6,025	157 82	102.7	1,810	10,
459	1,157 443	∆ 16	96.5	673	۷,
637	667	30	104.7	997	1,
3,759	3,695	△ 64	98.3	6,423	6,
1,998	1,959	△ 39	98.0	3,534	3,
5,453	5,584	131	102.4	9,943	9,
456	425	△ 31	93.2	562	
976	877	△ 99	89.9	1,562	1,
613	585	△ 28	95.4	837	
21,294	21,417	123	100.6	36,553	36,
1,937	1,694	△ 243	87.5	3,300	2,
144	109	△ 35	75.7	178	
63	75	12	119.0	85	
264	178	△ 86	67.4	306	
179	216	37	120.7	288	_
2,995	3,140	145	104.8	5,237	5,
881	779	△ 102	88.4	1,417	10
6,463	6,191	△ 272	95.8	10,811	10,
1,104 3,843	1,153 3,570	49 △ 273	92.9	1,888 6,964	1,
9,426	9,474	48	100.5	17,458	17,
3,472	3,326	△ 146	95.8	6,255	5,
629	679	50	107.9	1,170	1,
938	873	△ 65	93.1	1,766	1,
19,412	19,075	△ 337	98.3	35,501	34,
129	103	△ 26	79.8	182	
409	332	△ 77	81.2	629	
2,038	1,782	△ 256	87.4	3,363	3,
5,852	5,252	△ 600	89.7	10,057	9,
828	690	△ 138	83.3	1,384	1,
9,256	8,159	△ 1,097	88.1	15,615	14,
267	192	△ 75	71.9	479	
561	565	4	100.7	913	
2,833	3,113	280	109.9	5,130	5,
681	690	9	101.3	1,237	1,
4,342	4,560	218	105.0	7,759	7,
1,756	1,544	△ 212	87.9	3,025	2,
56	51	△ 5	91.1	83	
1 060	236	12	100.9	443	-
1,069	1,082 369	13 △ 22	94.4	1,919	1,
348	309	△ 22	93.7	576	
490	466	△ 24	95.1	973	
815	647	△ 168	79.4	1,470	1,
5,159	4,721	△ 438	91.5	9,166	8,
70,072	68,027	△ 2,045	97.1	120,922	117,
70,012	00,027		37.1	120,322	/17,

H29	H30		
731	773	42	105.7
509	438	△ 71	86.1
459	389	△ 70	84.7
2,790	2,707	△ 83	97.0
180	178	Δ2	98.9
408	280	△ 128	68.6
440	389	△ 51	88.4
4,786	4,381	△ 405	91.5
10,212	10,327	115	101.1
1,810	2,015	205	111.3
673	750	77	111.4
997	1,098	101	110.1
6,423	6,319	△ 104	98.4
3,534	3,402	△ 132	96.3
9,943	9,833	△ 110	98.9
562	562	0	100.0
1,562	1,400	△ 162	89.6
837	804	△ 33	96.1
36,553	36,510	△ 43	99.9
3,300	2,986	△ 314	90.5
178	128	△ 50	71.9
85	95	10	111.8
306	215	△ 91	70.3
288	335	47	116.3
5,237	5,479	242	104.6
1,417	1,272	△ 145	89.8
10,811	10,510	△ 301	97.2
1,888	1,898	10	100.5
6,964	6,540	△ 424	93.9
17,458	17,441	Δ 17	99.9
6,255	5,993	△ 262	95.8
1,170	1,121	△ 49	95.8
1,766	1,542	△ 224	87.3
35,501	34,535	△ 966	97.3
182	146	△ 36	80.2
629	541	△ 88	86.0
3,363	3,078	△ 285	91.5
10,057	9,048	△ 1,009	90.0
1,384	1,294	△ 90	93.5
15,615	14,107	Δ 1,508	90.3
479	388	Δ 91	81.0
913	958	45	104.9
5,130	5,351	221	104.3
1,237	1,101	Δ 136	89.0
7,759	7,798	39	100.5
3,025	2,679	△ 346	88.6
83	2,679	△ 346	96.4
443	392	△ 51	88.5
1,919	1,941	22	101.1
677	582	△ 95	86.0
	582	△ 95 △ 67	88.4
576		△ 75	
973	898		92.3
1.470	1 400		
1,470 9,166	1,409 8,490	△ 61 △ 676	95.9

統計3 二輪車盗難認知及び被害回復状況(平成30年6月末)

前年同期間の比較では認知件数2,138件(21.3%)減、被害回復39.2%(4.4%減)となっている。

				(年間比	(較)		<警察庁	情報>	(前年同期間比較)							
都道府県	G防普及率		平成28年					都道府県	平成29年	1月~						
即是仍从	H30年 6月	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	HIVE IN IK	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率		
北海道	4.5	187	87	46.5	124	73	58.9	北海道	68	32	47.1	21	6	28.6		
青森県	10.8	6	3	50.0	5	3	60.0	青森県	1	2	200.0	2	1	50.0		
岩手県	7.7	10	8	80.0	7	7	100.0	岩手県	2	2	100.0	4	4	100.0		
宮城県	30.1	219	94	42.9	172	89	51.7	宮城県	107	53	49.5	44	15	34.1		
秋田県	5.3	0	0	0.0	0	0	0.0		0	0	0.0	0	0	0.0		
山形県	8.1	13	6	46.2	9	3	33.3	山形県	3	0	0.0	4	3	75.0		
福島県	6.3	85	27	31.8	52	38	73.1	福島県	30	5	16.7	21	10	47.6		
東北計	14.0	333	138	41.4	245	140	57.1	東北計	143	62	43.4	75	33	44.0		
東京都	21.7	1,940	730	37.6	1,731	675	39.0	東京都	820	343	41.8	800	270	33.8		
茨城県	13.3	496	120	24.2	366	62	16.9	茨城県	228	35	15.4	121	27	22.3		
栃木県	7.7	108	24	22.2	135	22	16.3	栃木県	46	6	13.0	32	10	31.3		
群馬県	10.2	144	67	46.5	110	36	32.7	群馬県	56	16	28.6	45	7	15.6		
埼玉県	21.8	1,317	344	26.1	1,446	276	19.1	埼玉県	675	131	19.4	598	97	16.2		
千葉県	14.6	1,516	725	47.8	1,228	498	40.6	千葉県	633	264	41.7	497	172	34.6		
神奈川県新潟県	19.5 5.5	3,008	1,490	49.5 30.3	2,728 76	1,315 21	48.2 27.6	神奈川県新潟県	1,417	668 12	47.1 38.7	1,031	534 13	51.8 100.0		
山梨県	28.7	387	209	54.0	266	95	35.7	山梨県	132	50	37.9	119	39	32.8		
長野県	9.7	69	33	47.8	43	45	104.7	長野県	21	16	76.2	23	9	39.1		
関東計	17.7	9,084	3,772	41.5	8,129	3,045	37.5	関東計	4,059	1,541	38.0	3,279	1,178	35.9		
静岡県	13.2	593	294	49.6	473	250	52.9	静岡県	202	140	69.3	170	99	58.2		
富山県	7.5	36	13	36.1	17	14	82.4	富山県	10	9	90.0	4	3	75.0		
石川県	5.7	40	24	60.0	20	7	35.0	石川県	9	4	44.4	4	4	100.0		
福井県	11.7	42	16	38.1	17	21	123.5	福井県	15	16	106.7	6	2	33.3		
岐阜県	6.1	203	123	60.6	129	90	69.8	岐阜県	69	32	46.4	43	25	58.1		
愛知県	18.4	1,446	422	29.2	1,228	293	23.9	愛知県	629	149	23.7	406	127	31.3		
三重県	15.6	326	137	42.0	252	127	50.4	三重県	130	67	51.5	84	26	31.0		
中部計	14.2	2,686	1,029	38.3	2,136	802	37.5	中部計	1,064	417	39.2	717	286	39.9		
滋賀県	30.0	293	83	28.3	167	50	29.9	滋賀県	105	27	25.7	76	6	7.9		
京都府	31.1	993	438	44.1	702	360	51.3	京都府	357	171	47.9	332	138	41.6		
大阪府	35.0	3,774	1,798	47.6	3,431	1,234	36.0		1,599	637	39.8	1,607	504	31.4		
兵庫県	21.5	2,304	929	40.3	1,756	679	38.7	兵庫県	899	370	41.2	598	222	37.1		
奈良県	10.9	253	91	36.0	269	103	38.3	奈良県	147	54	36.7	87	38	43.7		
和歌山県	18.7	131	69	52.7	136	55	40.4	和歌山県	73	33	45.2	68	30	44.1		
近畿計	27.8	7,748	3,408	44.0	6,461	2,481	38.4	近畿計	3,180	1,292	40.6	2,768	938	33.9		
鳥取県	16.0	29	24	82.8	16	14	87.5	鳥取県	9	7	77.8	3	1	33.3		
島根県	30.2	15	8	53.3	11	14	127.3	島根県	7	8	114.3	2	1	50.0		
岡山県	37.1	353	201	56.9	269	119	44.2	岡山県	104	53	51.0	70	49	70.0		
広島県	59.3	314	241	76.8	293	187	63.8	広島県	156	86	55.1	93	73	78.5		
山口県 中国計	29.7 45.6	71 782	518	62.0 66.2	73 662	28 362	38.4 54.7	山口県 中国計	38 314	12 166	31.6 52.9	14 182	11	78.6 74.2		
徳島県	12.2	43	19	44.2	51	33	64.7	徳島県	37	19	51.4	13	8	61.5		
香川県	13.1	79	39	44.2	110	41	37.3		44	19	31.8	40	26	65.0		
愛媛県	45.0	203	106	52.2	140	55	39.3	愛媛県	74	27	36.5	87	22	25.3		
高知県	21.2	58	32	55.2	69	56	81.2	高知県	28	12	42.9	12	7	58.3		
四国計	28.0	383	196	51.2	370	185	50.0		183	72	39.3	152	63	41.4		
福岡県	12.3	1,850	1,404	75.9	1,132	744	65.7		553	402	72.7	402	272	67.7		
佐賀県	2.1	68	50	73.5	72	37	51.4	佐賀県	33	14	42.4	15	12	80.0		
長崎県	4.9	82	50	61.0	70	42	60.0	長崎県	37	26	70.3	14	9	64.3		
熊本県	19.8	164	144	87.8	129	93	72.1		59	51	86.4	30	25	83.3		
大分県	12.0	113	69	61.1	44	19	43.2		22	10	45.5	37	19	51.4		
宮崎県	11.0	78	47	60.3	69	46	66.7	宮崎県	36	18	50.0	20	10	50.0		
鹿児島県	11.9	154	111	72.1	118	85	72.0		51	38	74.5	60	33	55.0		
沖縄県 九州計	15.4 12.3	592 3,101	241	40.7 68.2	425 2,059	1,407	80.2 68.3	沖縄県	1,013	230 789	103.6 77.9	114 692	69 449	60.5 64.9		
				46.3	•											
全国計	20.6	24,304	11,264	46.3	20,186	8,495	42.1	全国計	10,024	4,371	43.6	7,886	3,088	39.2		

ЖH29/4∼H30/3

·前年同期間比較 ①認知件 △ 2,138 △ 21.3%

② 認知件数の増減(県の数) ③ 回復率の増減(県の数)

	県数
認知増県数	8
認知減県数	38
計	46

 県数

 回復率ダウン
 26

 回復率アップ
 18

 計
 44

一般社団法人日本二輪車普及安全協会 役員名簿

敬称略・順不同

理 事

会	長	伊東 孝紳	本田技研工業(株)	非常勤
専務	理事	林田 武人	(一社) 日本二輪車普及安全協会	常勤
常務	理事	太田 昭雄	(一社) 日本二輪車普及安全協会	常勤
理	事	加藤 千明	(株) ホンダモーターサイクルジャパン	非常勤
理	事	石井 謙司	ヤマハ発動機販売(株)	非常勤
理	事	濱本 英信	(株) スズキ二輪	非常勤
理	事	寺西 猛	(株) カワサキモータースジャパン	非常勤
理	事	赤坂 正人	(株) ホンダモーターサイクルジャパン	非常勤
理	事	宮本 義信	ヤマハ発動機販売(株)	非常勤
理	事	池本 憲治	(株) スズキ二輪	非常勤
理	事	小岩井 彰	(株) カワサキモータースジャパン	非常勤
理	事	小竹 忠	(一社) 日本自動車工業会	非常勤
理	事	德 永 泉	(一社) 全国軽自動車協会連合会	非常勤
理	事	大山 憲司	(一財) 全日本交通安全協会	非常勤
理	事	田中 法昌	(公財) 全国防犯協会連合会	非常勤
理	事	藤井 龍光	(一社) 日本二輪車普及安全協会	常勤
理	事	川瀬 哲朗	(一社) 日本二輪車普及安全協会	常勤

監 事

監	事	浅見 俊之	本田技研工業 (株)	非常勤
監	事	黒田 久次	ヤマハ発動機(株)	非常勤
監	事	小久保慎一	スズキ (株)	非常勤
監	事	米満 資明	川崎重工業 (株)	非常勤

平成30年6月28日現在 理事17名、監事4名

「平成30年2月号 日本二普協ニュース№120」のお詫びと訂正 -

「 平成 30 年 2 月号 日本二普協ニュース No.120 」(印刷された紙面)の P.10 にて「陸運関係 功労者表彰及び従事者表彰の受賞者を一覧でご紹介しましたが、中部運輸局長表彰を受賞された「名西カワサキ 西村一民」様の販売店名が「名阪カワサキ」となってしまっておりました。大変失礼致しました。この紙面にてお詫び申し上げます。

編集・発行 —

〒170-0005

東京都豊島区南大塚2-25-15 South 新大塚ビル7F TEL: 03-6902-8190 FAX: 03-6902-8195 ホームページ: http://www.jmpsa.or.jp

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会